



新しく広い施設で元気よく育って ~ひろお保育園が開園 (4月2日 撮影)



ひろお

# 議会だより



2016年6月1日発行

【平成28年第1回定例会】



「愛と平和 感謝と奉仕」  
サンタランドのまち 広尾町

議会新体制スタート 議長に堀田議員、副議長に浜頭議員 **2**

継続事業中心の骨格予算に 平成28年度予算可決 **4**

一般質問 (4人が登壇) **14**

／人口減少／海の駅／妊婦健診

産業常任委員会 より安全な水道水の供給が可能に **21**

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114

# 議会新体制 スタート

平成28年  
第2回臨時会  
(初議会)

5 / 12

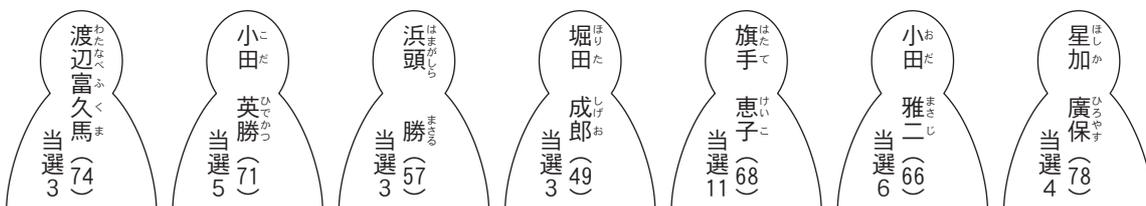
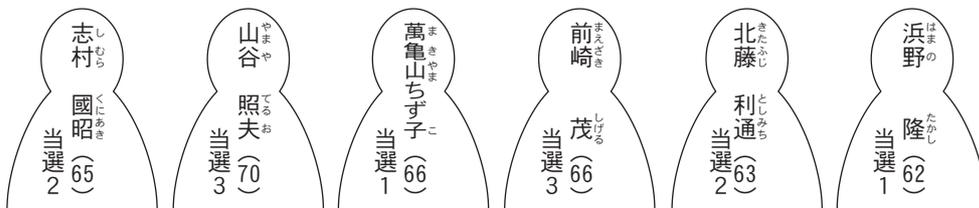
任期満了に伴う広尾町議会議員選挙（定数13人）は、定数と同数の13人が立候補し、無投票で全員が当選しました。新議員の任期は、平成28年4月30日から平成32年4月29日までの4年間となります。

一般選挙後の初議会（第2回臨時会）は5月12日に開かれ、正副議長や委員会構成などを決定。議会の新体制がスタートしました。



議長に堀田成郎議員、副議長に浜頭

勝議員



## 議長・副議長選挙

議長・副議長の選挙はともに投票により実施され、議長選挙は堀田成郎議員、副議長選挙は浜頭勝議員が当選しました。

### 議長選挙開票結果

堀田成郎議員 9票  
旗手恵子議員 4票

### 副議長選挙開票結果

浜頭 勝議員 9票  
前崎 茂議員 3票  
無効(白票) 1票

## 一部事務組合

### 議会議員選挙

一部事務組合議会議員の選挙は、全て議長の指名推選により当選しました。

### ◆南十勝複合事務組合 議会議員(定数2)

北藤 利通  
前崎 茂

### ◆十勝圏複合事務組合 議会議員(定数1)

堀田 成郎

## ◆十勝環境複合事務組合 議会議員(定数1)

堀田 成郎

## ◆とかち広域消防事務組合議会議員(定数2)

浜頭 勝  
堀田 成郎

### ※指名推選

地方議会で行う選挙(議長、副議長、仮議長の選挙、選挙管理委員及び補充員の選挙等)について、投票によらず、あらかじめ指名者を定めてその者の指名する者を当選者とする方法のことです。

◎指名推選の方法をとることができる条件は枠外を参照。

# 「たのもしい」と言われる議会へ

広尾町議会議長 堀田 成郎



広尾町議会は既定の「議会基本条例」をいよいよ本格的に運用してまいります。これは町民皆様から重大な付託をいただく議員各々の更なる資質向上と、様々な手法で皆様と一緒に強くまちづくりコミットするため議会の改革ともいえるも

のです。

重い責務と使命を担う議員一人ひとりが、未来に向け明るく豊かな広尾町を創り上げる「たのもしい議会」であると皆様に誇っていただけるよう、精一杯働いてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 新しい委員会構成決まる

## 総務常任委員会

委員長 旗手 恵子  
副委員長 小田 英勝  
委員 萬亀山ちず子  
山谷 照夫  
小田 雅二  
浜頭 勝

## 議会運営委員会

委員長 小田 雅二  
副委員長 志村 國昭  
委員 浜野 隆  
前崎 茂  
星加 廣保  
渡辺 富久馬

## 産業常任委員会

委員長 北藤 利通  
副委員長 志村 國昭  
委員 浜野 隆  
前崎 茂  
星加 廣保  
渡辺 富久馬

## 議会広報特別委員会

委員長 山谷 照夫  
副委員長 萬亀山ちず子  
委員 北藤 利通  
小田 英勝  
旗手 恵子  
浜頭 勝

農林・水産商工観光・建設・上下水道・港湾の各課、農業委員会の事務

に関する調査等を行います。

議会を円滑、効率的に運営する方法を協議するほか、議会に関する条例・規則などに関する調査を行います。

議会の活動を町民にお知らせするため、議会広報の発行やホームページの編集などを行います。

## 議会のこと

### 教えて! さーたちちゃん ②



Q 議会の「委員会」ってなに?



議案などを専門的、効率的に審査、調査するために議会がつくっている内部組織だよ。広尾町議会には、常時設置されている「常任委員会」、議会運営委員会、必要に応じて設置される「特別委員会」があるんだ。

### ◎指名推選の方法をとることができる条件

①指名推選の方法によること、②指名の方法(誰が指名するか)、③指名者によって指名された者を当該選挙における当選人とすることのすべてに、出席者全員異議がないこと。

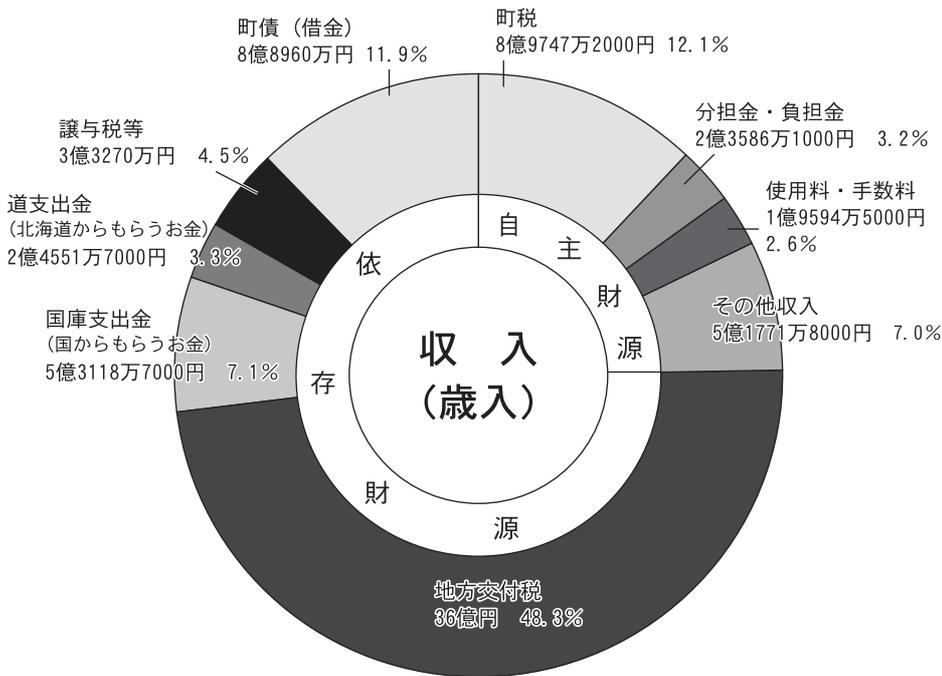
# 中心の骨格予算に

平成28年

第1回

定例会

総額 116億円



平成28年第1回定例会は、3月3日(木)から11日(金)までの9日間の会期で開かれました。条例の制定・一部改正、平成27年度補正予算、平成28年度予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

一般会計収入(歳入)合計 74億4600万円

◆平成28年度各会計の予算額

会計名	本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
一般会計	74億4600万円	101億1900万円	△26億7300万円
港湾管理特別会計	1億1620万円	1億2900万円	△1280万円
簡易水道事業特別会計	7240万円	6600万円	640万円
下水道事業特別会計	4億6010万円	4億7340万円	△1330万円
国民健康保険事業勘定特別会計	12億6600万円	13億1300万円	△4700万円
介護保険特別会計	7億1310万円	6億9160万円	2150万円
介護サービス事業特別会計	2億7930万円	2億7020万円	910万円
後期高齢者医療特別会計	1億300万円	1億744万5000円	△444万5000円
国民健康保険病院事業会計	9億8582万9000円	10億6071万8000円	△7488万9000円
水道事業会計	2億1823万5000円	7億6618万1000円	△5億4794万6000円
合計	116億6016万4000円	149億9654万4000円	△33億3638万円

町税収入は微増、  
地方交付税1.7億円減

## 主なしごと



### コミュニティソーシャル ワーカー<sup>※</sup>の配置

939万円

地域で支援を必要としている人を把握し、適切なサービスにつなげて問題の解決を目指す仕事を行う専門職員を配置します。

### ふるさと納税の推進

4125万円

水産商工観光課に新たに「ふるさと納税推進係」を設置して事業を推進し、寄附額の増加に努めます。

### 紋別地区集会所の建設

6044万円

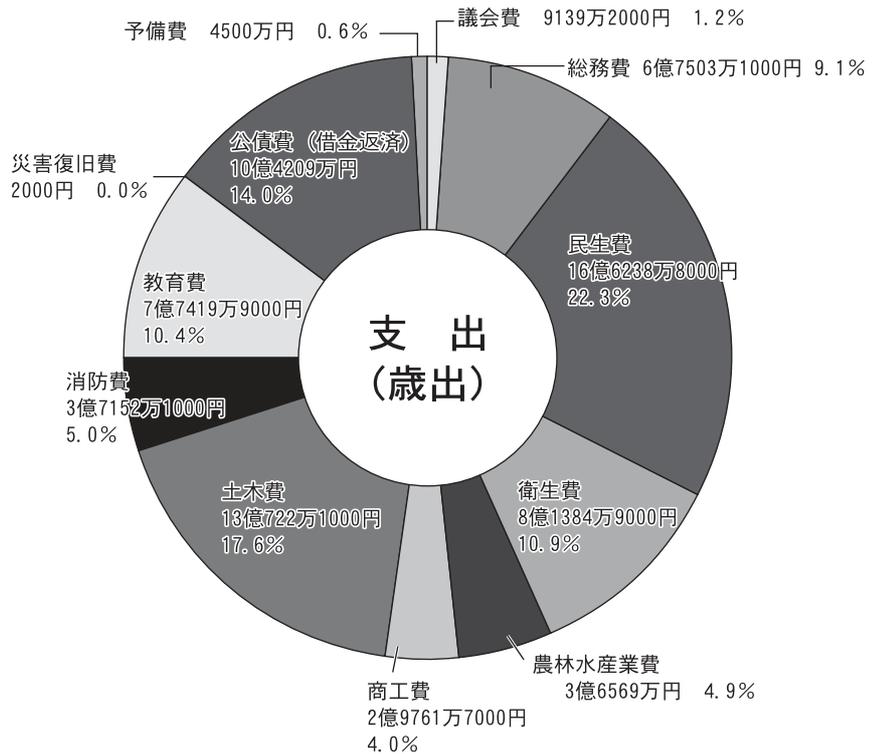
酪農研修センターを解体撤去し、新しい集会所を建設します。



## 平成28年度 予算

# 継続事業

## 全10会計



## 一般会計支出 (歳出) 合計 74億4600万円

平成28年度予算審査のため、予算審査特別委員会(浜頭勝委員長)を設置。一般会計、7特別会計、2企業会計の計10会計について、3月9、10日の2日間審査を行い、11日の本会議で討論・採決の結果、全会計総額116億円の平成28年度予算が可決されました。

### 【予算の概要】

平成28年度は町長の改選期に当たるため、当初予算は経常的経費などを中心とした「骨格予算編成」となりました。

一般会計予算額は74億4600万円で、前年度と比べて26億7300万円の大規模減ですが、前年度に借金の一部繰上返済25億円を計上していたことが要因です。それを除く実質的な予算額を比べると、1億7300万円の減となります。

収入の48%を占める地方交付税は36億円を見込み、前年度当初予算額と比べて1億7000万円の減となりました。

町税収入は前年度比1%増の8億9747万円を見込んでいます。

町の借金にあたる町債の発行額は8億8960万円で、前年度当初と比較して35.1%減。平成28年度末の借金残高は一般会計133億5000万円(全会計で167億6000万円)となっています。

※コミュニティソーシャルワーカー  
支援を必要としている人や地域に対しての援助を通して、地域と人とを結び付けたり、あるいは生活支援や公的支援制度の活用を調整するための「コミュニティ・ソーシャルワーク」を実践する福祉の専門職。



次のページは  
「新年度予算の質疑」

# 予算の使い道は

## 予算審査 特別委員会

3/3, 9, 10

委員長 浜頭 勝  
副委員長 北藤利通

新年度予算についての  
質疑内容を抜粋、  
要約してお知らせし  
ます。

### 役場職員再任用

**問** 広尾町では役場一般事務職員で再任用制度の活用実績がない。隣の大樹町は定年退職者の多くが再任用されている。制度を活用できる環境整備が必要では。

**答** 対象者の意向を調査しているが、希望がない状況。今後は年金支給年齢も上がり、制度の活用が図られてくると考えている。希望する人が働きやすい環境整備に努めていきたい。

### 臨時職員処遇改善

**問** 2月に職員給料を引き上げたが、それに伴う臨時職員の賃金引き上げを実施したか。

**答** 人事院勧告により1級職員で1.1〜1.8%程度の給料月額引き上げを実施した。

27年度は臨時職員の賃金日額を200円引き上げたが、28年度は介護福祉士の資格を取得している臨時介護職員の賃金引き上げを予定している。今後は管内情勢等も踏まえ、検討していく。

### 資材購入

**問** 建設資材等が地元で調達されていないと不満の声を聞く。町内で購入するよう指導するべきでは。

**答** 工事発注の際はなるべく地元から購入するようにお願いしている。

### 職員研修

**問** 職員研修の成果、レポート等の内容は他

**問** 個人番号カードの交付状況は。

**答** 申請352人、交付153人。(2月末現在)

の部署にも周知しているのか。

**答** 研修内容が全体に周知すべきものは庁内メール等で周知している。専門的な内容のものは、関係職員を集めて定期的に勉強会等を実施して周知している。

### 地域おこし協力隊

**問** 業務委託料565万円の内容は。

**答** 隊員の活動サポートを外部機関に委託している。委託料の内容は車両、パソコン、携帯電話借り上げ、居住費の一部助成、研修旅費、サポート機関の人件費となっている。

### ストレスチェック

**問** ストレスチェックの実施内容は。

**答** 法改正で50人以上の事業所は毎年1回全

### コミュニティソーシャルワーカー

**問** 事業の委託先はどこか。また、どのような事業内容なのか。

**答** 委託先は社会福祉協議会。社会福祉士、精神保健福祉士の有資格者が地域を回り、訪問し

### 成年後見制度

**問** サポートセンターの運営体制は。また、研修を受講された町民の活用を考えているか。

**答** 社会福祉協議会に委託して、認知症など判断能力が十分でない方の金銭管理や契約手続き

### 〈3名の地域おこし協力隊員が活動中〉



(写真左から)・吉田佳織さん(移住・定住促進担当)  
・関矢志織さん(観光事業担当)  
・土本義和さん(地域ブランド化担当)

ての職員を対象に実施することが義務付けられた。57項目のアンケート調査を行い、役場職員のストレス状況を把握するため活用する。

て困りごとのある人の相談を受け、地域の支援団体、関係機関との結びつきや、公的機関との調整を行い、問題解決を目指す。

# 新年度



地域福祉を支える社会福祉協議会（9月に行われている福祉まつり）

などの支援を行う。  
現在町内に7人いる市民後見人も活用しながら、在宅で生活できる環境を整備していく。

## 施設入所待機者

**問** 養護老人ホーム、特養の待機者数は。また、老人ホームは入所申請してから、実際に入所するまで何年かかるのか。

**答** 老人ホーム59人、特養50人。（27年12月末）

老人ホームは27年度は4名の入退所があった。現在は3〜4年待つ状況になっている。

## ごみ焼却施設

**問** 南十勝環境衛生センターのごみ焼却施設は老朽化しており、改築や帯広市の「くりりんセンター」との共同処理など検討していると思うが、今後の見通しは。

**答** センター長寿命化計画の報告では「現施設の延命整備」、「現施設の更新整備」、「くりりんセンターとの共同処理」のケースを想定している。

2月に開催された南十勝複合事務組合議会では、平成29年中に方向性を見出していきたいとの報告があった。担当者レベルで住民サービス、事業費

などを比較し、検討していく。

## 町営牧場

**問** 町営牧場の委託料が昨年度当初と比べて、大きく減っている理由は。昨年オソウシ牧場で発生したピロプラズマ病の影響もあり、関係機関等と協議した結果、28・29年度の2年間オソウシ牧場を休止することとしたため。

**答** エゾシカが媒介するダニが病気の原因になることから、休止期間中にシカ駆除などの対策を行っていく。

## 漁港施設

**問** 北海道地区漁港施設機能強化事業（機能診断）負担金の内容は。音調津漁港の北防波堤越波対策としてか

さ上げを実施する前に、機能診断を行い、整備計画に反映させるもの。



音調津漁港の北防波堤かさ上げへ

## 歩道の除雪

**問** 歩道の除雪について、地域からの要望があれば柔軟に対応できるのか。

**答** 通学路を第一優先に除雪しているが、その他の歩道については要望があれば随時実施する。

## 町議会を見に来ませんか

議会はどなたでも傍聴できます。手続きは簡単です。

役場3階にお越しください。

「傍聴人入口」で受付。住所と氏名を記入していただくだけです。

傍聴席へどうぞ。席は自由です。

※団体で傍聴を希望する方は、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

次のページは「第1回定例会」

# 適正な管理と 活用の促進を

4月から取り組みスタート

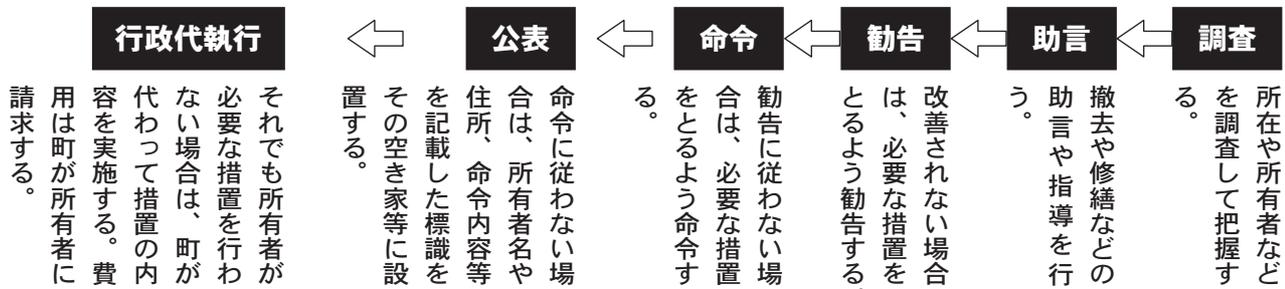
## 空き家



平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されました。本町でも適切に管理されていない空き家等が防災、衛生、景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、生活環境の保全を図り、空き家等の活用を促進する取り組みを行います。

- 「空き家等」の中でも、次のような状態にあるものを「特定空家等」とします。
- ① 危険（倒壊の恐れなど）
  - ② 著しく衛生上有害
  - ③ 著しく景観を損なう
  - ④ 生活環境保全のため、放置できない

### 特定空家等への対応



**問** 現時点で特定空き家に該当するのは町内にどれくらいあるのか。

**答** 現時点での該当戸数は把握していない。空き家は町内に146戸確認しており、特定空き家に該当するかどうかは今後調査して判断していく。

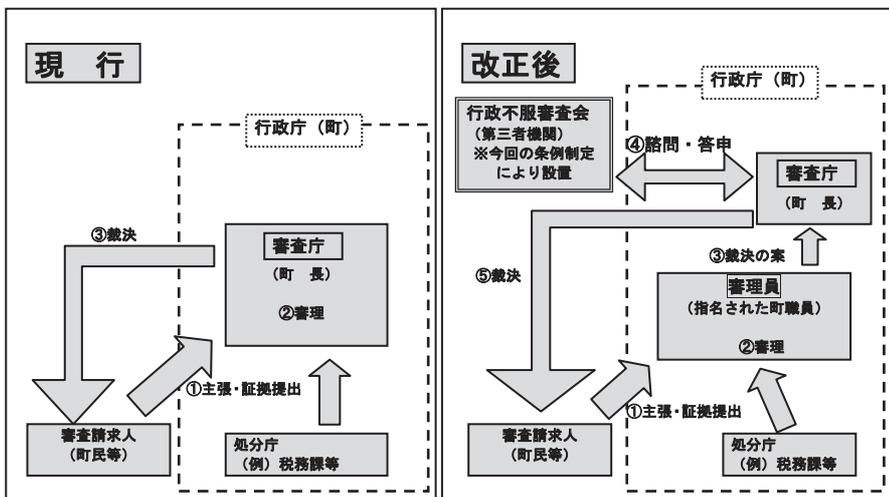
**問** 行政代執行を実施する判断基準は。また、その費用は所有者に請求するとあるが、お金がなくて納入できない場合の取り扱いは。

**答** まずは町から所有者に助言・指導・勧告するなど十分な話し合いを行い、それでも応じない場合はやむなく行政代執行を行うことになる。費用負担については所有者に十分説明し、理解を求めていく。やむなく代執行を行った場合で所有者にお金がなく費用が支払えない場合は、行政代執行法の規定により扱うことも考えている。

## 行政不服審査会を新たに設置

改正された行政不服審査法の規定により、町民等が処分などの見直しを求めて不服申立てをした際に、町長が申立てについて最終判断を行う前に、その判断が妥当なものであるかを第三者機関に諮問し、答申を受けることとなりました。その第三者機関として「広尾町行政不服審査会」が設置されました。（4月1日から施行）

### 改正前後の不服申立て（イメージ図）



（総務省ホームページより抜粋）

# 平成28年度予算を可決

# 消防コミセンは町の管理に

## 討論 (一般会計)

反対

地域経済  
活性化を

前崎 茂議員

賛成

当面の課  
題に対応

山谷照夫議員

地方の経済活動はいまだに低迷している。本町の町民所得階層別でも200万円以下が約7割であり、子育て世代の負担増など町民生活は厳しさを増している。住宅リフォーム助成事業を継続し、循環型地域経済の活性化を図るべき。老人ホームや特養の待機者対策も早期に講ずるべきと考え、本予算案に反対する。

平成28年度は改選期であり、継続的事業を中心とした骨格予算編成であるが、子育て支援や高齢者・健康・予防対策など町民が安心して暮らすための予算をはじめ、地域経済の安定などにも配慮している。当面の諸課題に対応した予算編成だと理解し、本予算案に賛成する。

南十勝消防事務組合の解散による財産処分協議に伴い、消防総合庁舎は広尾町が継承することになりました。

消防庁舎に併設しているコミュニティセンターの設置・管理について定めるため、条例を改正しました。

(4月1日から改正)

利用料金も町コミセンと同額

名称	広尾町コミュニティ消防センター
所在地	並木通東4丁目4番地 (消防庁舎併設)
利用料金	町コミュニティセンターの規定に準じる

## 《一般会計予算採決結果》

賛成 9 反対 3  
可決



## 工事請負契約を締結しました

- ① 錦町団地公営住宅9号棟建築主体工事  
【契約額】 5324万4000円  
【契約相手方】 アカイシ建設株式会社
- ② 錦町団地公営住宅10号棟建築主体工事  
【契約額】 5324万4000円  
【契約相手方】 アカイシ建設株式会社
- ③ 平成27年災第6号防波堤災害復旧工事  
【契約額】 8272万8000円  
【契約相手方】 拓殖工業株式会社

## その他決まったこと

- ◎ 監査委員の職務等を規定した条例を現状に合わせて改正しました。
- ◎ 地方公務員法の改正により、人事行政の運営状況の公表事項に「人事評価」、「退職管理」、「職員の休業」を追加し、「勤務評定」を削除しました。
- ◎ 法律の改正により、引用条項の改正、文言の追加を行いました。(職員の勤務時間、休暇等に関する条例・職員給与と条例)

- ◎ 消防の広域化に伴う再編により、総務課の業務に「消防団に関する事務」を追加しました。
- ◎ 過疎地域自立促進特別措置法の延長に伴い、平成28年～32年度までの5年を計画期間とする新たな「過疎地域自立促進市町村計画」を策定しました。
- ◎ 十勝のさらなる発展と魅力の向上を図るため、平成23年7月に帯広市と締結した「定住自立圏形成協定」の内容を追加、拡充しました。

次のページは「議案賛否」「議員出欠状況・意見書」



# 議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成27年12月定例会終了後～平成28年3月定例会まで)

## (1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	北藤	志村	浜頭	前崎	佐藤	山谷	星加	小田 <sup>こた</sup>	小田 <sup>おた</sup>	田中	旗手	堀田	渡辺富久馬
開催日	開催会議名・主な内容	利通	國昭	勝	茂	春一	照夫	廣保	英勝	雅二	巧	恵子	成郎		
2/9	第1回臨時会(条例改正など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/3	第1回定例会(条例制定など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	○	○	○
3/4	第1回定例会(補正採決・新年度予算説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/8	第1回定例会(一般質問)	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/11	第1回定例会(新年度予算採決など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		5日	出席日数計		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

## (2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	北藤	志村	浜頭	前崎	佐藤	山谷	星加	小田 <sup>こた</sup>	小田 <sup>おた</sup>	田中	旗手	堀田	渡辺富久馬
開催日	開催会議名・主な内容	利通	國昭	勝	茂	春一	照夫	廣保	英勝	雅二	巧	恵子	成郎		
2/12	第1回議会広報特別委員会	-	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	○	
2/19	第1回産業常任委員会	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	-	×	
2/24	第1回総務常任委員会	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	-	○	○	
2/29	第1回議会運営委員会	遅	-	-	○	○	-	-	○	×	-	-	○	○	
3/3	予算審査特別委員会(正副委員長互選)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	
3/4	予算審査特別委員会(補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
3/8	第2回議会運営委員会	×	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-	○	○	
3/9	予算審査特別委員会(新年度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
3/10	予算審査特別委員会(新年度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

●渡辺議員は議長のため、総務・産業・広報の各委員会に所属していませんがオブザーバーとして出席しています。

●予算審査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。

## (3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	北藤	志村	浜頭	前崎	佐藤	山谷	星加	小田 <sup>こた</sup>	小田 <sup>おた</sup>	田中	旗手	堀田	渡辺富久馬
開催日	開催会議名・主な内容	利通	國昭	勝	茂	春一	照夫	廣保	英勝	雅二	巧	恵子	成郎		
2/1	高校生議会にかかる事前交流	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	○	
2/3	高校生議会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	

**子ども医療費助成に係る国保の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書**

提出者 前崎 茂議員

若い世代が安心して結婚・子育てのできる環境の整備に向け、対策の強化を図らなければならぬ状況にある。全ての都道府県で子ども医療費無料化を含む助成を実施しているが、対象年齢や自己負担額などに地域格差が生じている。

さらに地方自治体が行っている子ども医療費助成については、国保の国庫負担金などが減額調整されており、施策推進の大きな支障となっている。国において全ての子どもを対象とした医療費助成が制度化されるまでの間、地方自治体が行う助成にかかる国保の国庫負担減額調整措置を廃止するよう強く要望する。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

次のページは「行政報告・補正予算」



村瀬町長からの

# 行政報告

※内容は要約しています。

## 国勢調査速報値 前回調査から 人口は大幅に減少



849人 (10.8%)

### 国勢調査の速報値

平成27年10月1日基準  
日で人口7032人、世帯数3162世帯。平成22年の前回調査と比べると人口は849人(10.8%)の減少、世帯数は132世帯(4%)の減少となった。

### 人口ビジョン、

#### 総合戦略の策定

人口ビジョンの目標人口は2040年に560

### 国保病院中期経営計画

平成28年度から32年度までの5か年の国保病院経営計画をまとめた。この計画を基に、院長を中心に職員一丸となって病院経営に努めていく。

### 新電力の導入

公共施設への新電力の導入に当たり、課題としていた「供給の安定性」が確認されたことを踏まえ、平成28年4月から「役場庁舎」、「グリーンパーク」、「広尾小・中学校」、「給食センター」の6施設に導入することとした。北海道電力と比較した削減効果は約170万円を見込んでいる。

### 自主・自立プラン

安定した財政運営を目指すための改革を進めていく方向性をまとめた「自主・自立プラン」の計画期間(平成17年度〜26年度の10年間)が終了した

ので状況を報告する。

歳入増加、歳出削減に努めた結果、当初見込んでいた収支不足による約9億円の基金取り崩しをしなくても財政運営が可能となり、住民負担やサービスの見直しも一部を除き見送ることが可能となった。今後も安定した財政運営に努めていく。

### サンタランド

#### マラソン大会

昨年10月4日に開催したマラソン大会の参加状況は、3部門に全国から計741人のエントリーがあった。参加者には黄金道路の景観、広尾町の食、大漁旗などの沿道応援などで楽しんでいただけたと思っている。

今後の開催については、コース上の課題があり、ランナーの安全確保を考えた場合、う回路が確保できた時点で次回開催を検討する。

## 高規格幹線道路

### 「帯広・広尾自動車道」

#### 全線開通へ一歩前進

### 「忠類大樹〜豊似間」 28年度着工

うち忠類大樹から豊似までが平成28年度の新規事業として採択された。今後も豊似・広尾間の新規事業化と1日も早い全線開通を目指し、要請活動を行っていく。

高規格幹線道路「帯広・広尾自動車道」の広尾町までの延伸に向けて要請活動を行ってきたが、大樹・広尾間について広尾市街地まで全線新設とする案が決定された。その

### 浄水場の供用開始

建設中だった浄水場が3月2日から供用開始となった。これにより、大雨等で原水の水质が悪化した場合でも、濁りのない安心・安全な水道水を安定的に供給することが可能となる。

#### 【浄水能力】

1日あたり3160 m<sup>3</sup>

#### 【浄水方法】

膜ろ過方式

#### 【給水区域】

広尾市街地



マラソン大会 次回開催はう回路確保後に

# 巨額の事業費に疑問 効果は？財政負担は？

## 地方創生関連事業に多くの質疑が

### 予算審査 特別委員会

委員長 浜頭 勝  
副委員長 北藤利通

3/3, 4

一般会計ほか9会計の平成27年度補正予算案10件を、3月3日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

#### 地方創生加速化

交付金事業  
7274万円

国に申請している事業は次の6事業。

子ども農山漁村交流から始める「まち・ひとづくり」事業

#### 【内容抜粋】

- 東京都荒川区などの子どもや親子のホームステイ受け入れ。
- 広尾の海産物を使った商品開発に都市部の子ども達のアイデアを活用。
- 広尾の海産物を都市部の学校給食へ提供。
- 都内の大型施設で「広尾フェア」の開催。



昨年行われた漁村ホームステイ事業

#### 広尾町人財創造センター事業

観光分野や地域活動、子育てなど幅広い分野におけるまちづくりリーダーの育成を図る。

#### うみやまのふれあい交流推進事業

芽室町と連携し、海産物と農産物の共同物販イベント、移住・定住のPRを首都圏で行う。

#### クリエイティブ人材移住促進事業負担金

十勝管内で連携し、首

### 平成27年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑩	113億4753万円	4395万円	増
港湾管理特別会計 ⑤	1億5345万円	110万円	増
簡易水道事業特別会計 ⑤	6551万円	21万円	減
下水道事業特別会計 ④	4億6542万円	800万円	減
国保事業勘定特別会計 ⑤	12億9179万円	4788万円	減
介護保険特別会計 ⑤	6億7922万円	1885万円	減
介護サービス事業特別会計 ⑤	2億6137万円	877万円	減
後期高齢者医療特別会計 ③	1億266万円	72万円	増
国保病院事業会計 ⑤	8億6447万円	2209万円	減
水道事業会計 ③			減
収益的収入	1億6616万円	175万円	
収益的支出	1億1315万円	202万円	
資本的収入	4億9894万円	5373万円	
資本的支出	6億896万円	4089万円	

※会計名の後の丸印は補正回数

(1万円未満切り捨て)

都圏のクリエイティブな人材を対象にワークステイなどの取り組みを行う。

#### 十勝アウトドアプランディング事業負担金

十勝管内で連携し、観光メニューの開発、十勝アウトドアDMOの設立に向けた調査活動。

#### 十勝イノベーション・エコシステム構築事業負担金

十勝管内で連携し、起業家の育成、総合コーデイネート機能を整備。

**問** 平成31年度までの実質4年間で約2億円の総事業費になる計画だ。国の補助もあるが、町の負担も大きい。町の財政に余裕がない中、もっと内容の精査が必要では。

**答** 平成27年度から5年間の事業量、事業費を見込んで国に申請している。

**問** これらの事業でどのような効果を見込んでいるのか。

**答** 国は地域間の連携、交流を重要視している。今回の事業で都市部と交流して広く縁を結ぶことで、将来的には移住人口の増加も狙っている。

27年度は全額国の補助、28年度からは50%の補助があり、残りは報道によると交付税措置されること。進ちよく状況に応じ、事業内容を精査しながら実施していく。

また、広尾の海産物をPRできる効果は大きいと考えており、広尾ファウンを増やしてまちの活性化に結び付けたい。

次のページは「一般質問」「外国人対応・人口減少・海の駅」

# ズバリ 町政を問う 一般質問

## 一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることで、

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

3月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちゃん」

## ●一般質問 項目一覧

おだ 小田雅二議員	来訪する外国人へ十分な情報を	P14
	大幅な人口減、どう分析して対応するか	P15
こだ 小田英勝議員	「海の駅」の建設 検討すべきでは	P15
前崎 茂議員	福祉施設臨時職員、速やかに正職員化を	P16
	携帯電話からの緊急通報システム 導入すべきでは	P16

前崎 茂議員	学校給食費の保護者負担軽減を	P17
	保育料の軽減を図るべきでは	P17
旗手恵子議員	妊婦健診の通院費助成を	P18
	～高レベル放射性廃棄物最終処分地～ 知らされず候補地になることはないか	P18

**質問** 広尾町を訪れる外国人からの旅行者や船員の人たち向けの地図やパンフレット、道路標識などはわかりやすいものになっているか。英語の地図はしばらく更新されていないと思う。2020年の東京オリンピックの時には地方まで外国人の旅行者が来るとされており、食堂のメニューの英語版などについても、商工会を通じて検討が必要だと思う。また、国際交流の観点から外国船の方と地元の小中学生が交流する機会があってもよいと思うが、町としての考えは。



おだ 小田雅二 議員

来訪する外国人へ  
十分な情報を  
更新していく  
利用しやすい情報に

## 町長

## 答弁 村瀬町長

2010年に英語、中国語表記で町内の道案内地図を作成した。外国船も多く入港し、旅行者も増加が予想されているので、パンフレットや地図なども利用しやすいものに更新していくことが必要だと考えている。道路標識については、今後の動向により国や北海道への要請について検討していく。

外国の方と



外国からの旅行者にやさしい町になっているか

# 大幅な人口減、

## どう分析して対応するか

### 町長 総合戦略に基づき、施策を実施

**質問** 5年前の国勢調査と比較した人口減少率について、広尾町は10・8%と本別町に次いで2番目となっている。十勝管内では突出した数字であり、実に849人減少している。その要因を細かく分析、比較しなければならぬと思うが、現時点でどのように考えるか。

大幅な減少となっている。人口減少が進むと税収減、消費支出の減などの影響がある。今年度作成した人口ビジョンでは25年後の目標人口を5600人、45年後は4500人とした。その達成のため、総合戦略に基づき、施策を

実施していく。雇用の場がなければ人は住まない。本町は一次産業の町である。後継ぎができる産業になるよう、行政としても支援したい。

また、いろいろな面から検討し、対策をたてる必要があると思うが、具体的な考えはあるか。

**答弁** 村瀬町長

自然減と社会減に加えて、5年前の調査では入っていた飼料コンピナートなどの大型工事の関係者が今回はなくなつたため、

国勢調査 人口速報値 (十勝分・抜粋)

市町村名	平成27年	平成22年	増減数	増減率
帯広市	169389	168057	1332	0.8%
音更町	44835	45085	△ 250	△0.6%
士幌町	6135	6416	△ 281	△4.4%
上士幌町	4775	5080	△ 305	△6.0%
鹿追町	5542	5702	△ 160	△2.8%
新得町	6290	6653	△ 363	△5.5%
清水町	9605	9961	△ 356	△3.6%
芽室町	18478	18905	△ 427	△2.3%
中札内村	3969	4006	△ 37	△0.9%
更別村	3186	3391	△ 205	△6.0%
大樹町	5734	5977	△ 243	△4.1%
広尾町	7032	7881	△ 849	△10.8%
幕別町	26764	26547	217	0.8%
池田町	6886	7527	△ 641	△8.5%
豊頃町	3183	3394	△ 211	△6.2%
本別町	7343	8275	△ 932	△11.3%
足寄町	6989	7630	△ 641	△8.4%
陸別町	2475	2650	△ 175	△6.6%
浦幌町	4911	5460	△ 549	△10.1%



おだ 小田英勝 議員

## 「海の駅」の建設 検討すべきでは

町長 意見を聞き、議論を深めていく

**質問**

帯広・広尾自動車道の全線開通に向けて大きく動き出した。全線開通となれば十勝港を中心とした物流車両の高速化や、観光などの人の流れも大きく変わると思われる。

「道路を作るだけではなく、終点の町として道の駅くらの受け皿を用意すべき。」と与党役員から言われたと聞いた。町内の若手経営者らによる道の駅建設に向けた検討委員会から基本構想も町に提出されている。町の活性化に対する思いを無にするのではないよう、道の駅ならぬ海をメインとした海の駅建設に向けて検討していくべきでは。

**答弁** 村瀬町長

道の駅建設については過去にも検討していたが、採算性の疑問などから見送られた経緯がある。平



管内の町村で道の駅がないのは7町村

成26年に商工会内に設立された検討委員会から基本構想の提出を受け、関係団体との協議を行っている状況にある。

道路を作っても広尾に多くの人に来てもらわなければ意味がない。その目的の一つが道の駅だと思っている。それぞれの意見を十分に聞き、帯広・広尾自動車道延伸に向けて道の駅を中心とした町の振興策について、議論を深めていきたい。



まえざき 前崎 茂 議員

# 福祉施設臨時職員、速やかに正職員化を

町長 施設運営の方向性を検討中であり、難しい

## 正職員と臨時職員 待遇面の違い

項目	正職員 (介護士)	臨時介護職員 (常勤)
給料	給料表による月額 (定期昇給年1回)	経験年数により、 日額8000円 または8600円
ボーナス	給料月額×支給率 (年間計4.2か月) × 期間率 (6月、12月の年2回)	日額×20×1.1× 期間率 (6月、12月の年2回)
扶養手当	あり	なし
有給休暇	年間20日+ 繰越し最大20日	最大10日
退職金	あり	なし

**質問** 2月に実施した特別養護老人ホーム等の介護職員の募集は半数に満たない応募状況だった。「仕事がきつい割りに処遇が良くない。将来に展望が持てない。」との声も寄せられている。

以前から、福祉施設臨時職員の正職員化と待遇改善について、再三指摘してきたが、養護老人ホームの支援員は介護福祉士も含めて全員が臨時職員で看過できない。正職員化と賃金引き上げ等の改善をすべきと思うが。

**答弁** 村瀬町長 正職員化についてはこれまで議論してきたが、民間委託も含めて今後施設をどう運営していくか検討中であり、対応は難しい。

待遇面では休暇の拡大、手当の支給、賃金日額の増額などを実施してきたが、28年度から介護福祉士の資格を持つ臨時職員の賃金日額6000円、平均月額1万20000円の引き上げを行う予算を計上している。

まえざき 前崎 茂 議員

## 携帯電話からの緊急通報システム導入すべきでは

町長 固定電話との選択方法も検討したい

**質問** 本町の高齢化率は34・5%で年々増加傾向にある。加えてひとり暮らしの独居高齢者も1月末に489人になっている。

**答弁** 村瀬町長 平成28年4月から消防の広域化により、広尾消防署での対応ができなくなるので、民間業者に緊急通報業務を委託する予定。システム

検討していく。今後も生活形態に応じた装置を設置して、急病時などに適切な救急救助体制を確保していく。

携帯電話しか持っていない一人暮らしの高齢者に対し、帯広市では外出時でも使用できるモバイル式携帯電話緊急通報システムを昨年度から導入し、現在2割の方が利用している。

広尾町でも、従来の固定電話に加えて、帯広市が実施しているモバイル式携帯電話緊急通報システムの併用導入を検討すべきでは。

選定に当たり携帯電話も検討したが、火災監視通報の機能がなく、紛失のおそれもあるため、固定型のシステム導入を予定している。ただ、人によっては携帯を希望する方もいるので、実情に合わせ選択できる方式も



平成28年4月から緊急通報業務は民間業者に委託

# 学校給食費の保護者負担軽減を

## 教育長 他の施策との調整が必要

### 質問

十勝管内  
で学校給

食費に対する助成  
をしている市町村  
は年々増加し、足  
寄町や陸別町は平  
成27年度から無料  
化を実施している。  
士幌町は児童生徒  
の3人目から学校  
給食費を無料化し、  
上士幌町、鹿追町、  
幕別町、池田町、  
更別村などは学校  
給食費に一部助成  
をして、保護者の負担軽  
減措置を実施している。  
本町でも学校給食費に  
助成して、保護者の負担  
軽減を図るべきでないか  
また、仮に消費税が増税  
された場合、これ以上保  
護者負担をさせないため  
にも、給食費に転嫁すべ  
きでないと思うが。

### 答弁

笹原教育長

平成26年4月から消費  
税が8%になったことに  
伴い、当時管内で最も安  
い水準だった給食費を8  
年ぶりに見直した。物価



給食費一部助成で保護者負担軽減を

の上昇等はあるが、献立  
の工夫等により負担が増  
えないよう努めている。  
給食費の負担軽減は子  
育て支援策の一つとして  
理解しているが、他の施  
策との調整もあり、町部  
局と十分協議が必要。既  
成の就学援助制度のさら  
なる周知に努め、保護者  
の負担軽減を図っていき  
たい。

消費税が増税された場  
合も、保護者負担は必要  
最小限にとどめていき  
たい。



はたて 旗手恵子 議員

### 質問

貧困と格差が拡  
大する中、子ど  
もの貧困が社会問題とな  
り、子どもがいる世帯の  
6人に1人が貧困ライン  
を下回る。

先の高校生議会でも、  
保育料の軽減を求める質  
問が出ている。国の新年  
度予算案の中で、多子世  
帯の保護者負担の軽減、  
保育料の段階的無償化が  
示されている。

本町では多子世帯の保  
育料を独自に軽減してき  
たが、国の制度拡充に合  
わせ、多子減免の拡大、  
基準となる世帯収入の引  
き上げで保護者負担の軽  
減を図るべきではないか。

## 保育料の軽減 図るべきでは

### 町長

国の動向も注視し、  
改善を図る

### 答弁

村瀬町長

子どもの健やかな成長  
のためにも保育料の軽減  
は必要だと思っており、  
これまでも軽減策を積極  
的に行ってきた。

国は多子軽減の年齢上  
限を撤廃する  
とともにひと  
り親の負担軽  
減を検討して  
いる。

国の動向を  
見ながら、保  
育料の軽減に  
ついてさらな  
る改善を図っ  
ていく。また、  
ひとり親世帯  
の軽減につい  
ても検討して  
いく。



保育料のさらなる軽減策実施を  
(写真8ひろお保育園オープニングセレモニー)

# 妊婦健診の通院費助成を

町長 前向きに検討していく

質問

平成20年12月議会  
の一般質問で、

妊婦健診を10回から14回に拡充し、交通費の負担も大きいことから、北海道に助成を求めるべきと質問した。

北海道の新年度予算に、妊婦健診・出産に対しての交通費・宿泊費を助成する5300万円が計上されたことを知った。  
広尾町の妊婦さんは、分娩可能な産科医療機関までの距離が十勝で一番遠く、苦勞して健診を受け、出産に臨んでいる。  
町としても通院費助成実施に向け、対応を急ぐべきではないか。

答弁 村瀬町長

急速な少子化により、子どもを取り巻く環境も変化し、地域全体で子育てを支援することが重要と考える。これまでも保護者負担を軽減するため、子どもの医療費無料化の拡大などを実施してきた。安心して子どもを産み育てる環境の充実のため、妊婦健診の通院費助成は必要と考えている。

広尾町の妊婦さんが医療機関までの距離も遠く、大変な現状であるのは十分理



北海道も妊婦健診の交通費助成を開始

～高レベル放射性廃棄物最終処分地～

# 知らされず候補地になることはないか

町長 説明・情報は町民に公表していく

質問

福島原発事故から5年。汚染のない状態に戻るのはいつになるのか。  
昨年、経済産業省は「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する自治体向け連絡会」を開催し、道内では64自治体が出席の意思を示したという。さらに「科学的有望地」を示す方向で議論を開始したという。

全て「非公開」で進められているというが、住民に知らされないまま、最終処分地の候補にされる事態にならないか。国から説明、情報提供等あった場合、議会や町民に公表すべきと思うがどうか。また、最終処分に対する考えは。

答弁 村瀬町長

昨年国による説明会が情報提供の一環として開催されたが、本町は欠席している。  
現在、国は最終処分方法として地下深くに埋設することが有望だと考えているが、事故が起るとその土地には二度と住むことはできないおそれがある。

知らないところで本町が最終処分候補地になることはないと考えている。重要な問題なので、今後国からの説明や情報提供があった場合は、議会や町民に公表し、意見を聞きながら判断していく。



町民にしっかりと情報公開を

# 製氷・貯氷施設 整備を支援

総事業費は約8億5000万円



老朽化している製氷・貯氷施設を建て替え

平成28年第1回臨時会が2月9日に開かれ、条例改正、補正予算、専決処分の承認の議案13件を審議。いずれも全会一致で原案どおり可決・承認し、閉会しました。

## 教育行政報告

### スクールバス交通事故

11月24日に西2条6丁目の交差点で音調津線の小型スクールバスと普通乗用車が衝突する事故が発生した。バスに子ども

## 特別職の給料月額を改定

	改正前	改正後	増減
町長	66万7000円	74万円	7万3000円 ↑
副町長	58万3000円	61万3000円	3万円 ↑
教育長	53万5000円	55万8000円	2万3000円 ↑

また、特別職の給料月額を次のとおり改定した。また、特別職の給料月額を平均0.5%引き上げた。

## 議員・特別職・職員の給与を改定

は乗っておらず、双方の運転手にもケガはなかった。

人事院勧告に伴い、議員、特別職、職員の期末勤労手当を0.1か月分、職員の給料月額を平均0.5%引き上げた。

## 平成27年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑧	113億161万円	8億7045万円	増
港湾管理特別会計 ④	1億5235万円	※増減なし 財源内訳の補正	
簡易水道事業特別会計 ④	6573万円	11万円	増
下水道事業特別会計 ③	4億7342万円	20万円	増
国保事業勘定特別会計 ④	13億3967万円	99万円	増
介護保険特別会計 ④	6億9808万円	98万円	増
介護サービス事業特別会計 ④	2億7015万円	176万円	増
国保病院事業会計 ④	収益的支出 8億8657万円	※増減なし 財源内訳の補正	
水道事業会計 ②	収益的収入 1億6792万円	6万円	増
	収益的支出 1億1517万円	55万円	増

※会計名の後の丸印は補正回数

(1万円未満切り捨て)

### ◎専決処分

議会が議決または決定すべき事項を、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づき、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

## 専決処分の承認

12月16日に決定された平成28年度与党税制改正大綱で、一部の手続きにおける個人番号の利用の取り扱いを見直す方針が示されたため、広尾町税条例の一部改正について専決処分を行った。

## 補正予算

製氷・貯氷施設整備を支援  
7億5973万円

広尾漁協が実施する製氷・貯氷施設整備事業への支援。

**問** 製氷・貯氷施設整備事業の総事業費は、

**答** 総事業費は8億5619万1000円。

国から3分の2、北海道から4分の1の支援があり、町と漁組が12分の1ずつを負担する。

## 水面貯木場の復旧

8387万円

昨年台風23号で被害を受けた防波堤等の災害復旧費。

**問** 貯木場の災害復旧については原型復旧だ

と思うが、また昨年のような大型低気圧が来たときどのように対処するのか。

**答** 被災の原因の一つが外北防波堤からの越流なので、平成28年度の外北防波堤のかさ上げ工事実施について開発局と協議中である。



# 総務常任委員会

委員長 山谷照夫 副委員長 北藤利通

調査日 平成28年2月24日

## 人口ビジョン・総合戦略の策定内容は

2040年の目標人口は5600人

### 人口ビジョンの考え方

広尾町は自然減より社会減の影響が高い状況にある。よって移住・定住につながる施策や町からの流出を防ぐ施策で社会減の減少カーブをゆるやかにして、子育て施策の充実など出生増のための施策を検討することがポイントである。

広尾町の人口ビジョンは基本的に北海道とほぼ同じ独自推計により、2040年の合計特殊出生率の目標を「2・07」とし、それを基にした同年の目標人口を「5600人」とするものである。

### 総合戦略の考え方

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定したもので、人口減少に伴う様々な課題解決に向け、重点的に取り組むための計画である。

計画期間は平成31年度までの5年間で、次とおり、基本理念や重点プロジェクトを設定した。

ひとを育て、しごとを創り、まちの魅力を発信する

### 総合戦略の「基本理念」

#### 【重点プロジェクト】

- ・十勝の海と大地の活性化プロジェクト
- ・サンタが見守る地域交流プロジェクト
- ・まちを想う子ども育成プロジェクト
- ・ひとづくりでまちおこしプロジェクト

### 問

合計特殊出生率の推計値は実際の出生数から考えると高すぎるのではないか。希望的な目標ではなく、実現可能な数字を出すべきでは。

### 答

推計値はあくまで目標であり、達成できるように努力する。

### 問

この人口ビジョンに何を期待し、今後いかに使っていくのか。

### 答

町民が現在の状況を知り、意識を持つことが大事だと考えている。人口減対策に妙案はない一つ一つの施策を積み上げていくことが重要だ。

### 中期経営計画の重点項目

- ①13：1入院基本料への移行
  - ・入院患者への手厚い看護と収益増
- ②電子カルテシステムの導入
  - ・業務の効率化、情報のスピード化を実現
- ③医療従事者の確保
  - ・専門分野職員の確保・充実を目指す

## より信頼される病院を目指して

～国保病院中期経営計画を策定～

推進し、質の高い医療、地域医療の充実支援に努め、より信頼される病院を目指すため、「中期経営計画」（平成28年度～32年度）を策定した。

### 問

医師を町内会や老人クラブの懇談会へ派遣しているとあるが、今年度の開催実績と今後の計画は。

### 答

27年度は5か所で開催し、約90人の参加があった。28年度は町内会、老人クラブ各4か所程度を回りたいと考えている。

### 問

13対1の入院基本料へ移行するためには、看護師が何人不足しているのか。また、移行した場合、収益はどれくらい増加するか。

### 答

看護師があと1人いれば移行できると考えている。13対1になると入院基本料が1610円上がる。一般病棟が年間通して1日30床稼働すると仮定した場合、約2000万円程度の増収となる。

# 産業常任委員会

委員長 田中 巧 副委員長 浜頭 勝

調査日 平成28年2月19日

## より安全な水道水の供給が可能に

### 完成した浄水場を視察

見た！  
聞いた！



# ひろお

## 常任委員会

### 広尾浄水場の概要

建設場所	白樺通南2丁目1番地2
建物構造面積	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上2階建 722.84㎡
浄水方法	膜ろ過方式
浄水能力	3160㎡
総事業費	8億6348万7300円

#### 施設整備の経緯

広尾市街地の水道水は、原水の水質が良好なため、塩素消毒のみで配水してきたが、大雨時の原水水質悪化による濁りや塩素消毒にも抵抗性のあるクリプトスポリジウムなどの病原体による感染が懸念されたため、高度な浄水処理が可能な施設の整備が急務となった。

#### 浄水方法・維持費など

浄水方法は安定した確実な水質管理が可能な「膜ろ過方式」とした。0・

1ミクロンの小さな穴が開いたセラミックの膜で濁りや細菌を除去するため、大雨等で水質が悪化した際でも濁りのない安心・安全な水道水の供給が可能となっている。

浄水施設の全工程は全自動化されており、人員の常駐は不要である。維持管理費については、電気料や施設警備委託料など初年度は年間約800万円を見込んでいます。2年目以降は施設の維持補修費が加わる。また、15年経過後くらいにろ過膜の更新費用などが見込まれている。

建設費が当初の予定に比べて増えている。今後の借金の返済計画や水道料金の値上げについてはどう考えているか。

## 水道料金への影響は・・・

### 平成31年頃に約2割の値上げが必要



完成した浄水場を視察

#### 問

建設費が当初の予定に比べて増えている。今後の借金の返済計画や水道料金の値上げについてはどう考えているか。

#### 答

水道料金は平成2年の改定以降、値上げをしていない。今回の浄水場の建設で借金返済と維持管理費が増加し、毎年の収支がマイナスになる。それにより経営に必要な現金預金が不足することになるので、平成31年頃に料金の見直しが必要と

#### 問

要と考えている。料金の上げ幅はどのくらいを想定しているか。

#### 答

平成31年度までは毎年2000万円以上の収支不足見込みとなっている。水道料金収入が約1億1000万円ほどなので、20%前後になると考えている。



次のページは「議会日誌・ざかいトピックス」

## 議会活動日誌

平成28年 3月～平成28年 5月

### 【3月】

- 1日 広尾高等学校卒業式
- 2日 広尾浄水場通水式
- 3日 第1回広尾町議会定例会（～11日）
- 4日 南十勝消防事務組合議会定例会
- 5日 文化賞・スポーツ賞等表彰式
- 12日 ひろおフォーラム2016
- 13日 独居高齢者「春のお楽しみゲーム大会」
- 30日 とかち広域消防局開所式（帯広市）

### 【4月】

- 1日 北海道消防操法訓練大会選手結団式
- 2日 ひろお保育園開園式・入園式  
さけます神社春季祭典・大漁祈願祭
- 8日 広尾高等学校入学式
- 9日 日高信用金庫広尾支店新築地鎮祭
- 13日 高規格道路用務（～14日 札幌市）
- 19日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 20日 広尾町農協通常総会
- 27日 新議員説明会  
よこやま信一を励ます十勝大集会（帯広市）
- 29日 川の手荒川まつり  
（28～30日 東京都荒川区）

### 【5月】

- 12日 第2回広尾町議会臨時会  
第1回議員協議会
- 13日 十勝圏活性化推進期成会文教福祉委員会（帯広市）
- 16日 とかち広域消防事務組合議会臨時会（帯広市）  
十勝環境複合事務組合議会臨時会（帯広市）  
十勝圏複合事務組合議会臨時会（帯広市）
- 18日 第3回広尾町議会臨時会  
第3回議会広報特別委員会  
広尾町議会議員会総会
- 19日 広尾町商工会通常総会
- 20日 帯広広尾会総会（帯広市）
- 23日 南十勝複合事務組合議会臨時会（大樹町）  
広尾町北方圏交流振興会総会
- 24日 海難碑、延命地蔵尊供養祭
- 27日 南十勝正副議長懇話会（大樹町）
- 29日 広尾町消防団春季消防演習

## 閉会中の所管事務調査

議会運営委員会は、平成28年第2回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

### ◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

## ぎがイトピックス

### 3 / 3 全国議長会から表彰

小田英勝議員は町議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、このほど全国町村議会議長会から表彰されました。

表彰状は、3月定例会初日の冒頭に渡辺富久馬議長から伝達されました。



### 3 / 8 町内会女性部長が議会を傍聴

町内会女性部連絡会（菅原恵子会長）では毎年「議会の傍聴」を実施しており、今回は3月定例会で行われた一般質問を菅原会長ほか女性部長ら10人が傍聴しました。

4人の議員と町長が町政について交わす議論に聞き入っていました。

